

3. 情報流通分野 - - - ポスター・広告

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・商品、ポスター上のバーコード・URL等をデジタルカメラ付き携帯電話で撮影し、OCR処理することで、それを手がかりに情報を取り出す 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・タグ普及へのつなぎ: 具体的には、まず自動認識技術の個人(消費者等)への普及を図り、その高度なシステムとして電子タグ利用が求められる環境を整備 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・OCR処理の精度・能力向上等 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・普及促進機関の整備及びフォーマットの標準化等 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p> <p>デジタルカメラ付き携帯電話等 画像 サーバー等 OCR処理 情報取り出し 例: ネットレンジ</p> <p>バーコード・URL等を人手で撮影 デジタルカメラ付き携帯電話 画像 サーバー等 OCR処理 情報取り出し 例: ネットレンジ</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・商品、ポスター上に電子タグを、携帯電話等にタグリーダー機能を付加 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・人の操作を介しない読取り、その場での伝達情報量の増加、読取りの精度・能力向上(高速・複数同時読取り、被覆可能性等)及びアプリケーション連携により、容易な利用と利用拡大 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・電子タグ及びリーダーのコスト削減、電波の干渉問題、移動端末のCPUでのパフォーマンス向上と検証等 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・利用頻度を向上させる為のビジネスモデルやアプリケーションの開発、特に個人や消費者の間での電子タグの利便性の理解の浸透を図るため、利用シシンの創出が必要 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p> <p>電子タグ付きポスター等 かざして情報を眺め込む タグに書かれた情報表示 プロ野球巨人-阪神戦 予約や詳細情報はこちら http://www 巨人阪神戦掲示板 読む 書き込み ユーザー操作で書き込み可能 電子タグ・NW機能内蔵携帯電話</p>

4. 道路・交通分野 - - - 航空旅客サポート

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・電子タグにより航空手荷物を識別することにより、旅客の行き先・チェックイン日時・重量等の情報を記録管理し、手荷物の正確な輸送を行うシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・手荷物の紛失・積込誤りを防止することができる 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・衝撃に耐えうる電子タグ強度の確立 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p> <p>チェックイン時 重量 行き先等 タグ リーダ 手荷物カウンターへ 便へ</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・航空チケット、航空手荷物、パスポート等旅客時に必要なものをすべてを電子タグで管理する、効率的かつセキュアな旅客システム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・旅客管理の効率化、セキュリティアップが実現 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、超小型ワンチップコン・ヒュータ技術、高機能課金決済システム技術、個人認証技術 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート等への電子タグ埋込み・貼付等の方法及び認証方式の確立、各電子タグと連携したネットワークの確立 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p> <p>入国審査 パスポート タグ リーダ 照合 自動的に変更</p>

4. 道路・交通分野 - - - 鉄道旅客サポート

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・駅構内、バス停留所等に電子タグを設置し、電子タグからその位置に応じた列車、バスの運行状況や停車駅等の情報を携帯電話等のモバイル端末に提供するシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・いる場所に応じた各種情報をモバイル端末で確認しながら、移動が可能 ・一般健常者のみならず、高齢者や身障者向けの様々なサービスの実現が可能 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・短距離無線通信技術、信頼性、耐久性向上 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・電子タグの設置者、管理者、サービスプロバイダとの連携 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>  <p style="text-align: center;">駅構内 バス停留所 周辺情報等の表示</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての乗車券に電子タグを貼付することで、旅客の位置情報(ホーム上、線路上など)を把握可能なシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・転落や接触による悲惨な事故を防ぎ、円滑な列車運行と安全確保が図れる 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、高精度位置特定技術、信頼性、耐久性向上 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・乗車券の投げ捨て、紛失等の対処 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>  <p style="text-align: center;">旅客の位置情報の把握により、安全で安心な駅構内環境を実現 列車の入出時にホーム端に旅客がいるなど危険を感知すると自動放送等により注意喚起 旅客の転落を感知すると列車緊急停止装置が作動</p>

4. 道路・交通分野 - - - 位置情報・誘導・ガイダンス

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・歩道や地下街等の歩行空間、住所表示版等に電子タグを設置し、位置情報を携帯電話等のモバイル端末に提供するシステム。 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・高精度の位置情報の入手、特定の場所に応じた情報の提供ができる他、高齢者、身障者向けの様々なサービスの提供が可能。 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、ユビキタスアドレス運用・管理システム 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・電子タグの設置者、管理者、サービスプロバイダとの連携 ・道路への電子タグ埋込み方法の確立 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>  <p style="text-align: center;">案内所 歩道空間 周辺案内地図 位置情報に応じた各種情報を受信</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> ・目的地までの歩行経路を音声でガイド、また遠隔から誘導できるシステム 2. 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> ・全ての人が目的地まで迷わず到達できる。 3. 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> ・高度センシングシステム技術、ユビキタスアドレス運用・管理システム技術、モビリティ制御・管理技術 4. 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ・電子タグの設置者、管理者、サービスプロバイダとの連携 ・道路へのタグ埋込み方法の確立 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>  <p style="text-align: center;">次の信号を渡ります 目的地を入力 次の角を左折して下さい 道を間違えています!! アラーム 家 遠隔監視 目的地入力 最寄りのコンビニを入力 迷わずに来れた!</p>

4. 道路・交通分野 - - - 電子ナンバープレート

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> 電子ナンバープレートにより、違反車両の確認、盗難車の発見、車両に係わる自動決済等を行うシステム 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> 違反者の軽減、盗難車の早期発見、駐車場、ドライブスルー等の自動決済 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> 高度センシングシステム技術、高精度位置特定技術、高速無線通信技術、セキュリティ技術 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ビジネスモデルの構築、プライバシー保護技術 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> 電子ナンバープレートによる車両管理システム 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> 渋滞の緩和、交通事故防止 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> 高度センシングシステム技術、高精度位置特定技術、高速無線通信技術、電子タグの耐タンパ技術 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> 道路標識のデータベース化、道路交通に関するものの電子タグネットワークの構築 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>

4. 道路・交通分野 - - - 車両

<p style="text-align: center;">2005年</p> <ol style="list-style-type: none"> 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> 電子タグによる個人を認証(車両ロック解除、メモリーコール)することで、車両がドライバーを特定し、その人の好みにカスタマイズ(ドラゴジュ、ナビ、エアコン設定等)される 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> 利便性、快適性向上 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> 高度センシングシステム技術、コピキタアドレス、運用・管理システム、耐タンパ技術 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> 複製(偽造)防止 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>
<p style="text-align: center;">2010年</p> <ol style="list-style-type: none"> 具体的なシステム概要 <ul style="list-style-type: none"> 車外ネットワークへの接続権限や有料コンテンツ等への課金利用など、電子タグによるコピキタネットワークへの接続認証システム 実現の効果 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ向上、使用性向上 技術開発課題 <ul style="list-style-type: none"> 高度センシングシステム技術、セキュア通信技術、ルーティングプロトコル技術 取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> 不正利用の防止、電子タグ盗難対策 	<p style="text-align: center;">利用イメージ</p>